

幼児期の関節部症状と全身再燃を経て夜間覚醒が減った小児アトピーの経過 (7歳 女児)

症例 ID : 001-07-NA2 | 記録日 : 2017年5月16日

1. 診断・治療前経過

年少の2013年夏頃に肘内側が赤く乾燥し、プロパデルムとアズノールの混合薬を使用しました。2014年春には顔面発疹、肘内側と首の赤み、乾燥、かゆみが続きました。

冬には皮膚がひび割れ、夜間にかゆみで何度も目を覚ますようになりました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	肘内側などにプロパデルムを使用しました。ロコイドは処方されましたが使用していません。
製品名	プロパデルム。ロコイドは未使用です。
強度	不明です。
使用期間	2013年頃から受診前まで断続的に使用しました。
中止時期	松本医院受診時です。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過 (リバウンドを含む)

時期	治療開始から	経過
2013年夏頃	発症	肘内側の赤みと乾燥が出ました。
2014年春	範囲拡大	顔面発疹、肘内側、首の赤みとかゆみが続きました。
冬季	生活への影響	皮膚がひび割れ、夜間に何度も目を覚ました。
松本医院受診	治療開始	煎じ薬と外用薬を開始しました。
開始1週間以内	初期変化	傷と耳切れが目立ちにくくなりました。
数か月後	強い再燃	発疹が腕全体と膝裏へ広がり、皮膚のただれと出血がみられました。
漢方入浴2~3回後	変化	皮膚状態が再燃前に近い状態へ戻りました。
小学1年頃	経過後	夜間にかゆみで目を覚ますことがほとんどなくなりました。
7歳時	記録時点	首の症状は、アトピーと分かりにくい程度まで軽減しました。

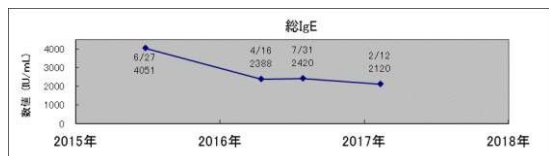
4. ピーク時期

ピークは、治療開始数か月後に発疹が腕全体と膝裏へ広がり、皮膚のただれと出血がみられた時期です。

5. 困りごと

- ・幼児がかゆみと痛みで泣き、夜間に何度も目を覚ました。
- ・煎じ薬を飲ませることや日々の外用処置に家族の負担がありました。
- ・周囲から治療変更を勧められるほど皮膚状態が強く悪化しました。

6. 検査値・写真・画像 ※治療前後の比較ではなく、経過中にみられた症状や検査値の記録として掲載しています。



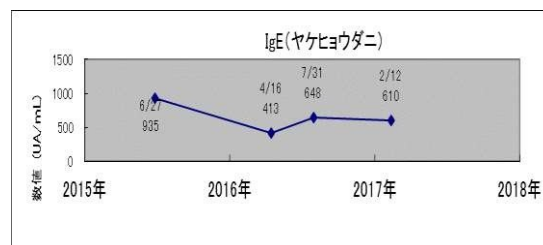
経過中の画像記録。



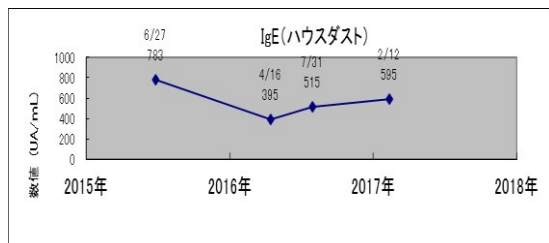
経過中の画像記録。



経過中の画像記録。



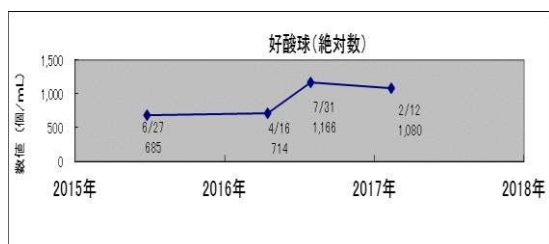
経過中の画像記録。



経過中の画像記録。



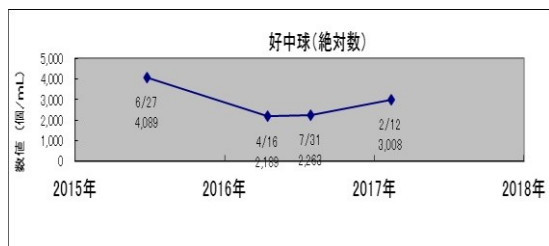
経過中の画像記録。



経過中の画像記録。



経過中の画像記録。



経過中の画像記録。

7. 経過のまとめ

強い再燃を経験しましたが、漢方入浴を2〜3回続ける中で皮膚状態が落ち着きました。

小学1年頃には夜間覚醒がほとんどなくなり、7歳時には首の症状もアトピーと分かりにくい程度まで軽減しました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
 症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。